

けいはんな分室の産学公連携 ～新しい研究・開発のシーズを見つけ育てる～

けいはんな分室では地元企業を中心に産学公連携を進めるため、京都産業21と協同で、京都大学宇治キャンパスの4つの研究所と同志社大学京田辺キャンパスと連携して産学交流会を開催しています。今回は、平成30年度事業の概要を紹介いたします。今年度も、話題のテーマや今後の注目分野など、幅広く参加いただける交流会を開催しますので、多くの方々のご参加をお待ちしています。

京都大学宇治キャンパス産学交流会

京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会と共催し、エネルギー理工学研究所と平成30年6月20日に、生存圏研究所と9月19日に、防災研究所と12月3日に、化学研究所と平成31年2月26日に、宇治キャンパスで開催しました。



化学研究所研究室見学

企業の方々が大学のキャンパス内において、研究者が進めている最新の研究・開発や実験設備などに触れることを通じて、産学の垣根を越える交流の場として定着し始めており、京都大学との共同研究や製品化に結びついた事例も生まれています。

どの先生も、テーマや資料、話の内容を工夫していただいております。参加者の方々にとって理解しやすい講演となっています。

本交流会は、京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会の多大なご協力により運営されています。ただ今、平成31年度の会員を募集していますのでぜひご入会ください。

同志社大学・けいはんな産学交流会

平成30年度は、「けいはんなリサーチコンプレックス」事業と共催で、平成30年9月20日、11月14日、平成31年2月13日の計3回、けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)で開催しました。

「けいはんなリサーチコンプレックス」は、けいはんな地域に立地する機関が協力して人のココロに寄り添う「超快適」な「次世代型スマートシティ」の実現を目指しさまざまな活動を行っていることから、交流会のテーマも脳科学、人間科学等を中心にしたものとなっています。

こちらは、大学・研究機関の研究者が進めている研究内容や、研究が目指す将来像などを、さらに深く掘り下げた内容を直接聞いてみたいというご要望にお応えするもので、専門的な内容を含んだものとなっています。

また併せて、学生やけいはんな地区に立地する企業が参加するポスターセッションを開催しています。学生と企業が互いの研究開発内容について語り合い、理解を深めることができる場です。ここから次のステップにつながるヒントを得て、けいはんな地区立地企業の研究開発の新展開につなげていただくとともに、将来的に学生が、けいはんなの研究者として活躍していくことを期待しています。

京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会会員募集中!

目的

京都大学や会員企業間の業種を越えた連携を図る。

事業概要

例会 4回/年

- エネルギー理工学研究所、生存圏研究所、防災研究所、化学研究所との産学交流会をそれぞれ1回実施
- 例会の終了後、研究所教員および会員間の情報交換、連携を促進するための懇親会を開催

会員 36社(平成31年3月現在)

幹事

三和研磨工業株式会社、株式会社山岡製作所、プラスコート株式会社

年会費

1万円/社(セミナーなどの開催については、社内から複数人数の参加も可、懇親会費用は実費を徴収)

入会

会社名・所在地、担当者氏名・所属・電話・E-Mailを、けいはんな分室までお知らせください。

詳細は、当センターホームページをご参照ください。

<https://www.kptc.jp/sangakukou/kyodai-ujii/>

